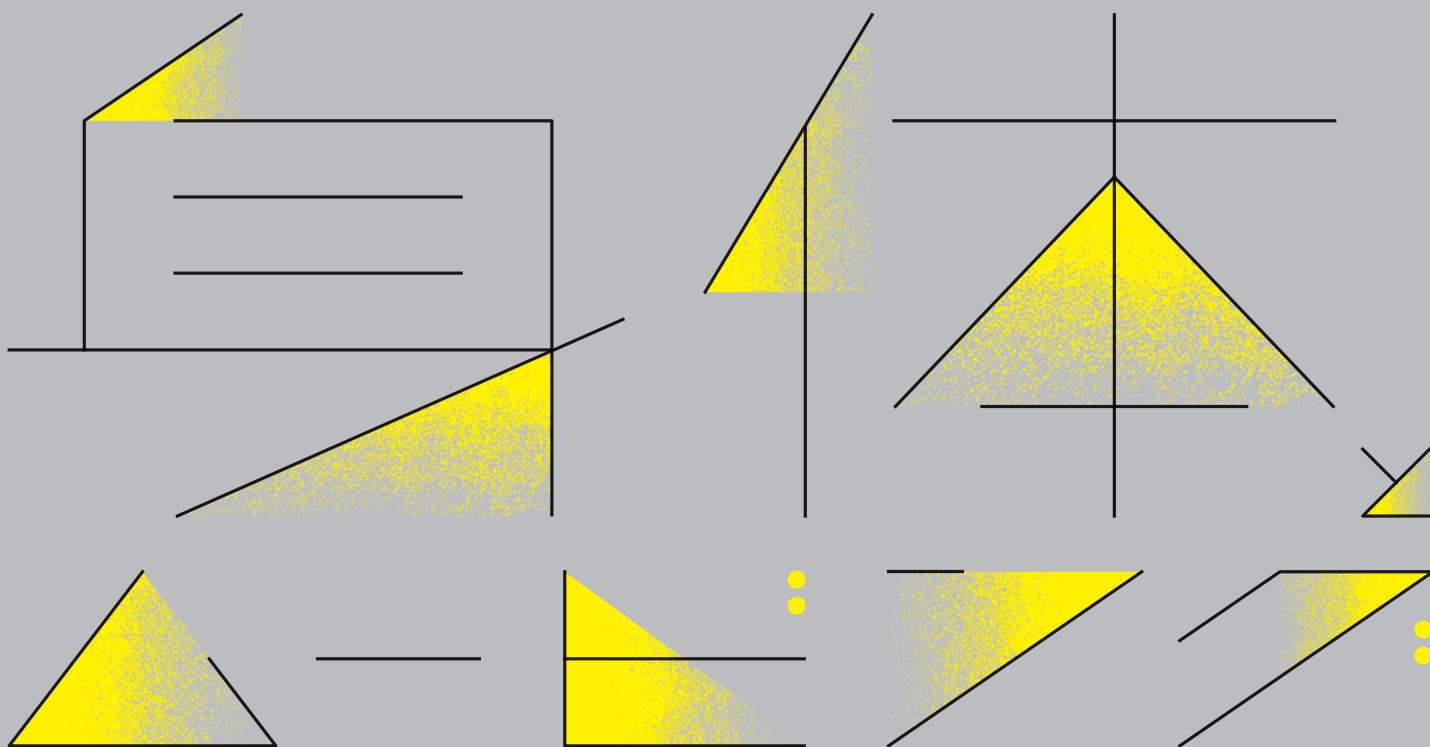


Takamatsu Art Museum Collection+ "Body and Movement"



2020
7.23 [木・祝]
→ 9.6 [日]

高松市美術館コレクション^{プラス}
身体とムービング

開館時間: 9:30~17:00
(ただし金・土曜日は19:00閉館)
※展示室への入室は閉館30分前まで
Hours: 9:30-17:00 (Entry until 16:30), Friday and Saturday until 19:00 (Entry until 18:30)

休館日: 月曜日
(ただし、8月10日[月]開館、翌8月11日[火]休館)
Closed: Monday (except August 10), Tue., August 11

入場料: 一般800円(640円)
大学生500円(400円)
高校生以下無料

※()内は20名以上の団体料金
※身体障害者手帳・療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳所持者は無料

主 催: 高松市美術館 / 尼崎市
特別協力: 公益財団法人 尼崎市文化振興財団 / 株式会社 ログキャビン / 小山登美夫ギャラリー / シュウゴアーツ
協 力: アートランジット株式会社



上) 白髪一雄(天宮星撲天暈)1963年(尼崎市蔵) 左下) 近藤亜樹(HOUSE)2017年(作家蔵) ©Aki Kondo / courtesy of ShugoArts
右下) 中国孔二(無題)2012年(白木聡・鎌田道世コレクション) photo by Kenji Takahashi / ©Koji Nakazono / courtesy of Tomio Koyama Gallery

身体とムービング

美術館コレクションとゲストによる作品を組み合わせで紹介する「高松市美術館コレクション^{プラス}」。
今回のテーマは、「身体」と「ムービング」です。

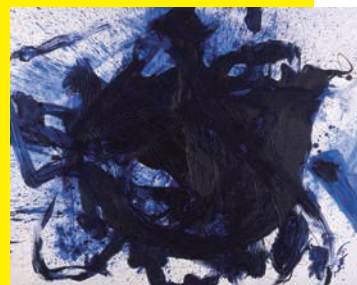
まず第一室では、「制作行為における身体と動き」に着目。兵庫県尼崎市が所蔵する白髪コレクションを全国の美術館に紹介していく「白髪一雄発信プロジェクト」と共同し、足で描くアクション・ペインティングという独創的な制作スタイルで国際的な注目と高い評価を集めた白髪一雄(1924-2008)の初期から晩年に至る作品の魅力に迫ります。そして、白髪も参加した「具体美術協会」のリーダー・吉原治良(1905-1972)の「これまでになかったものを創れ」という教えのもとで行われた、若き美術家たちの実践と探求を、田中敦子(1932-2005)の《電気服》をはじめとした当館の「具体」コレクションによって紹介します。

二室目は、「旅や移動とともにある制作行為」に着目し、絵画や映像作品を紹介します。イギリスの港町のギャラリーで、窓から刻々と差し込む光と自らの身体が対話するように描いた石田尚志(1972-)の《REFLECTION》、ログズギャラリー[浜地靖彦(1970-)と中瀬由央(1971-)]が1993年に結成したアーティスト・ユニット名]による実際のドライブで記録された映像と音響が螺旋的に再構成される《DELAY》などの当館所蔵作品のほか、ゲスト作家として近藤亜樹(1987-)と中園孔二(1989-2015)を迎えます。近藤の絵画には「生きる行為と喜び」が溢れており、かつて暮らした小豆島にまつわる命を慈しむ作品に心が揺さぶられます。また、若くして高松の海でその人生を終えた中園の、高速度に湧くイメージと身体の反応による作品群は、見る人に瑞々しく訴えかけてくれるでしょう。

加えて、「んまつーポス」(スポーツマンの逆さ読みのコンテンポラリーダンスカンパニー、宮崎市在住)の「高松くっぴりお」を開催し、体育×美術×ダンスといった異分野を越える経験によって広く豊かに本展を楽しんでいただけます。

①田中敦子《電気服》1956/86年 高松市美術館蔵 撮影・加藤成文 ©Kanayama Akira and Tanaka Atsuko Association ②吉原治良《Peinture》1960年 高松市美術館蔵 ③白髪一雄《群青》1985年 尼崎市教育委員会蔵(尼崎市立尼崎高等学校) ④石田尚志《REFLECTION》2009年 高松市美術館蔵 ⑤近藤亜樹《母を想うとき》2020年 作家蔵 ©Aki Kondo / courtesy of ShugoArts ⑥中園孔二《無題》2012年頃 中園雅勝・中園信子蔵 photo by Ken Kato / ©Koji Nakazono / courtesy of Tomio Koyama Gallery

Body and Movement



▶ んまつーポスの「高松くっぴりお」

@エントランスホール ※要電話申込7月1日(水)8:30
・パフォーマンス「空想オリンピック short version」観戦
7月23日(木・海の日)18:00~18:30
※公演後アフタートークあり(約15分)
対象:小学生以上/先着30人/無料
・ワークショップ「高松くっぴりお」
7月24日(金・スポーツの日)10:00~15:00
対象:小学生/先着9人/参加料:500円



▶ 講演会「白髪一雄の“フットペインティング”の見どころ」

7月26日(日) 14:00~15:30
1階講堂/先着30人/無料
講師:平井章一(関西大学文学部教授)

▶ 映画《HIKARI》(2015年、33分35秒)上映

近藤亜樹(ゲスト作家)が、絵画制作を1年間中断し、監督・脚本を手掛けた実写と油彩アニメを組み合わせた映画作品。
会期中の土・日曜日及び8月10日(月) 11:00~16:30(ループ上映)
(ただし、7/26、8/1・2・9/5・6を除く)
1階講堂/30席/無料
*上映日を変更する場合があります。

▶ 学芸員によるギャラリートーク(展示解説)

8月9日(日)・23日(日)各14:00~
2階展示室/無料 ※要観覧券
*内容を変更する場合があります。

TAKAMATSU ART MUSEUM
高松市美術館
TAKAMATSU ART MUSEUM

〒760-0027 香川県高松市紺屋町10-4
Tel:087-823-1711 / Fax:087-851-7250
10-4, Konyomachi, Takamatsu, Kagawa, Japan
<http://www.city.takamatsu.kagawa.jp>



(交通のご案内)
●JR四国:JR高松駅下車…南へ徒歩約15分
●ことでん:瓦町駅、片原町駅下車…徒歩約10分
●バス路線:(ショッピング・レインボー循環バス)紺屋町バス停下車…徒歩約2分、(まちバス)丸亀町三番街下車…徒歩約3分、(高速バス)県庁通り下車…徒歩約8分
●駐車場:美術館地下に公営駐車場(有料、乗用車144台収容)
●高松空港から:リムジンバス 約40分、兵庫町下車徒歩4分

▶ その他のお知らせ

● 第2期常設展「New Collection」

6月27日(土)~9月22日(火・祝)

● 「美術館の日」8月1日(土)

展覧会観覧料無料

● 次回特別展「世界が絶賛した浮世絵師 北斎展」

9月12日(土)~10月18日(日)

上野あづさ 子どものアトリエ

「なんかすごい糸電話」

8月16日(日)13:30~15:30

※要電話申込:8月2日(日)8:30~

場所:講座室2/対象:5歳~小学3年生/先着8人
参加料:500円

◎後日YouTubeでも配信予定